

「全鍍連」 2021年 4月号 いきいき地域

全鍍連情報・国際委員 栗原 識 (株)大協製作所 代表取締役社長)

「弊社周辺の歴史」



情報・国際委員を仰せつかっております神奈川県メッキ工業組合の栗原です。皆様、コロナ渦で如何お過ごしでしょうか？
全鍍連誌に記事を寄稿する順番が回ってきたようなので、本社のある横浜市保土ヶ谷区今井町地元周辺の歴史について調べてみました。今回指名を受けたことがきっかけで色々調査したことが地元の歴史を知るいい機会になりました。

■神奈川県

現在の神奈川県の大部分は明治維新時の廃藩置県頃までは、相模国にあたり、現在の東京都や埼玉県、神奈川県の北東部は武蔵国にあたりました。

横浜市の大半は、かつては武蔵国に属していて、残りは相模国に属していました。

■横浜市

武蔵国は 21 の郡からなる大国で、横浜市が含まれていたのは久良岐郡、橘樹郡、都筑郡、市南西部は相模国の鎌倉郡に属していました。

国名称	郡名称	区名称
武蔵国	久良岐郡	中区、南区、西区、磯子区、港南区（一部）、金沢区
	橘樹郡	鶴見区、神奈川区、西区、保土ヶ谷区（一部）、港北区(一部)
	都筑郡	緑区、青葉区、都筑区、瀬谷区（一部）、旭区、保土ヶ谷区、港北区
相模国	鎌倉郡	戸塚区、泉区、栄区、瀬谷区、港南区（一部）、金沢区、南区（一部）

横浜には、市内に複数の河川が流れていることもあり、1859年7月1日の横浜港開港以来、捺染業が盛んでした。染料を生地に染め付けた後、余分な染料と糊を落とすための水洗工程は数十年前まで河川で行われており、当時は川の水の色が赤や青に染まっていたそうです。

■保土ヶ谷区

横浜市は 18 区に分かれています。区制が施行されたのは 1972 年、当初は 5 区しかなく、保土ヶ谷区もその一つでした。保土ヶ谷は、江戸時代では東海道 53 次で江戸日本橋から数えて 4 番目の宿場町でした。1601 年発足時は川崎宿、戸塚宿がまだ未整備の状態ということで栄えていたそうです。



東海道五拾三次之内 保土ヶ谷 (初代広重) 横浜市歴史博物館所蔵



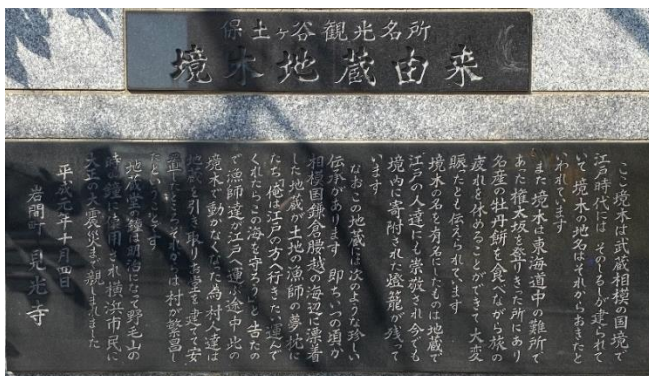
横浜市中央図書館所蔵

五十三次名所図会 五 程ヶ谷 境木立場 鎌倉山遠望 (初代広重)



お正月恒例の箱根駅伝では各校がエース級を投入するところから「花の2区」と呼ばれ、上りの難所の権太坂があるのが保土ヶ谷区です。江戸時代「武蔵国と相模国の境目」から来ている所から「境木」という地名にもある通り、昔で言えば国境の地域です。

弊社があるのは保土ヶ谷区（武蔵国）ですが、最寄り駅の東戸塚駅は戸塚区（相模国）です。国境だった境木や権太坂付近には現在も様々なモニュメントが残っています。



■ 今井町



町内の「城山」と呼ばれる丘陵地には、今井城跡があります。今井城の創建については明らかではなく、平安時代末期の武将、木曾義仲の四天王の一人で巴御前の兄弟である今井四郎兼平の居城という伝承がありますが、定かではありません。戦国時代には北条氏の勢力下にあり、城代として清水氏が置かれていました。現在城址には石碑が建てられています。

「城山」の南端には「城山稲荷」が祭られており、その城山稲荷付近で昭和 30 年 10 月に 400kg の埋蔵金が見つかりました。発見された通貨は、宋銭、南宋銭、元銭、明銭で、江戸時代の通貨は含まれておらず、鎌倉時代から戦国時代に使用されていた通貨ばかりでした。

この発見により、今井城は戦国時代にも使用されていたことが明らかとなったそうです。現在この通貨は、清水家から寄贈され「城山」の麓の高野山真言宗金剛寺に保管されています。金剛寺のご住職によると地元の小学生の見学時、埋蔵金の話は鉄板ネタとのことでした。

